

2022年2月8日

各 位

会社名 株式会社 テレビ東京ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 石川 一郎  
 (コード番号: 9413 東証第1部)  
 問合せ先責任者 専務取締役 加増 良弘  
 (Tel. 03-3587-3061)  
<https://www.txhd.co.jp>

## 2022年3月期 通期業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年11月4日に公表しました2022年3月期 通期業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 1. 2022年3月期 通期業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年11月4日予想)	百万円 144,500	百万円 7,000	百万円 6,840	百万円 3,960	円 141.03
今回予想(B)	148,100	8,000	8,200	5,350	190.54
増減額(B)-(A)	3,600	1,000	1,360	1,390	-
増減率(%)	2.5	14.3	19.9	35.1	-
(参考)前期実績 (2021年3月期)	130,240	5,228	5,340	2,575	91.12

(注) 前期実績 (2021年3月期) は収益認識会計基準を適用したと仮定した場合の参考値です。

### 2. 業績予想修正の理由

子会社の㈱テレビ東京において、放送事業収入がスポットCM収入を中心に好調を維持しているほか、アニメ部門が中国の配信企業に対する配信許諾や北米等での商品化が引き続き好調なことに加え、㈱BSテレビ東京の業績も好調だったことから、2022年3月期 第3四半期連結業績において営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となりました。第4四半期も各事業とも好調が続く見通しで、今年度から積極化している配信コンテンツの費用計上が増えるものの通期連結業績は前回予想を上回り、営業利益、経常利益とも過去最高になる見通しです。セグメント別の業績予想数値は2022年2月8日に公表しました「2022年3月期 第3四半期決算補足資料」に記載のとおりです。

当社が2021年5月13日に公表した『2021中期経営計画』では、「配信とアニメ」の粗利益を3年間で50%増やす目標を掲げていますが、初年度の2022年3月期は計画推移を上回る見通しで、中期経営計画の達成に向けて順調な滑り出しとなっております。

### 3. 配当予想の修正

#### (1) 配当の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想(A) (2021年11月4日予想)	—	25円	40円
今回修正予想(B)	—	45円	60円
当期実績	15円	—	—
(参考)前期実績 (2021年3月期)	15円	25円	40円

#### (2) 配当予想修正の理由

当社は、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元にも努めることを配当の基本方針としております。具体的には、1株当たり20円を下限とした安定配当に加えて、業績に応じた配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしております。

この配当方針のもと、2022年3月期の期末配当金は1株当たり25円を予定しておりましたが、本日公表の2022年3月期通期業績予想（連結）で営業利益が80億円、経常利益が82億円となり、過去最高となることから、1株当たりの期末配当金を20円増額し、1株当たり45円といたします。この結果、年間配当金は1株当たり60円となり、連結配当性向は31.5%となります。

以上

#### (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や経済活動の動向等により、大きく異なる可能性があります。